

(老人福祉施設版)

(別記)

## 福祉サービス第三者評価結果公表事項

### ①第三者評価機関名

社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会

### ②事業者情報

名称：宇和島地区広域事務組合 特別養護老人ホーム 光来園 老人デイサービス施設 光来園 訪問介護施設 光来園	種別：介護老人福祉施設、通所介護、訪問介護
代表者氏名：岡 利一	定員（利用人数）：介護老人福祉施設 130名（130名） 通所介護 25名（18～19名） 訪問介護
所在地：宇和島市保田甲806番地	TEL 0895-27-0173

### ③実地調査日

平成25年12月24日（火）～25日（水）

### ④総評

#### ◇特に評価の高い点

特別養護老人ホーム光来園（以下、特養という）は、宇和島地区広域事務組合（以下、事務組合という）において昭和49年に開設され、現在では介護老人福祉施設と通所介護、訪問介護を提供する複合施設として、地域のニーズに応えるよう役割を果たしてきた。

平成22年9月に福祉サービス第三者評価を受審し、現在に至るまで明確になった課題を改善すべく努力を重ねてきた。特に「利用者の日課の見直し」を行い、サービス提供内容や方法の改善につなげる取り組みを継続している意義は大きい。さらに通所介護において、業務改善のため8か月間のコンサルテーションを受け、稼働率がアップし介護職員の増員につながったことは大いに評価できる。

#### ◇改善を求められる点

人事面も含めた中・長期的なビジョンと事業計画、単年度計画の策定ができる仕組みづくりへの努力が望まれる。

さらに、理念や基本方針を始め、共有すべき情報等について職員への周知徹底を行い、サービスの質の向上に向けた継続的な取組みを期待したい。

また、利用者の生活の安全性や快適性を確保するために、建物や設備、備品等の点検を定期的に行うことが望まれる。

### ⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

介護老人福祉施設（短期併設）と通所介護、訪問介護の複合施設である光来園の現状について、専門的かつ客観的な立場から提出した自己評価表や資料を、きめ細かく分析していただき、3年前に受審した際にも増して数多くの気づきと改善意欲が高まりました。

特に、共有すべき情報等について、職員への周知徹底を再確認し、職員全体で共通意識をもち、個人プレイではなくチームプレイで、時代と状況に応じたサービス提供を重視した施設運営に努めていきたいと思えます。

そのためにも人事面も含めた「人づくり」を事務組合との協議を重ね、「利用者本位の日課の見直し」をチーム光来園で一致団結し、更なる前進をしたいと思えます。ありがとうございました。

### ⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

(別紙)

## 評価細目の第三者評価結果

## 評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

## I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果		
		特養	デイ	訪問
I-1-(1)	法人や事業所の理念、基本方針が確立されている。			
	I-1-(1)-① 法人や事業所の理念が明文化されている。	a・(b)・c	a・(b)・c	a・(b)・c
	I-1-(1)-② 法人や事業所の理念に基づく基本方針が明文化されている。	a・(b)・c	a・(b)・c	a・(b)・c
I-1-(2)	法人や事業所の理念や基本方針が周知されている。			
	I-1-(2)-① 法人や事業所の理念や基本方針が職員に周知されている。	a・(b)・c	a・(b)・c	a・(b)・c
	I-1-(2)-② 法人や事業所の理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a・b・(c)	a・b・(c)	a・(b)・c

## 所見欄

前回の受審を機に事務組合は理念・基本方針を明らかにした。施設においてもその理念に基づき、平成 25 年度は、各部署間や各職員間で「和」を大切にした「人間関係づくり—信頼関係づくり」をテーマに掲げて取り組んでいる。

理念は、施設玄関や各部署に掲示し、絶えず目につくように工夫しているが、職員への周知徹底と利用者等への周知が望まれる。

## I-2 計画の策定

		第三者評価結果		
		特養	デイ	訪問
I-2-(1)	中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	a・b・(c)	a・b・(c)	a・b・(c)
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a・b・(c)	a・b・(c)	a・b・(c)
I-2-(2)	事業計画が適切に策定されている。			
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	a・b・(c)	a・b・(c)	a・b・(c)
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	a・b・(c)	a・b・(c)	a・b・(c)
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	a・b・(c)	a・b・(c)	a・b・(c)

## 所見欄

事務組合が策定した設備や改修に関する整備計画や予算書はあるが、理念や基本方針の実現に向けた具体的な取組みを示すものにまでは至っていない。今後、地域や利用者の状況を踏まえ、職員の参画によるソフト面も含めた事業計画の策定ができる仕組みづくり、職員や利用者等への周知の努力が望まれる。

## I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果		
		特養	デイ	訪問
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。				
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a・(b)・c	a・(b)・c	a・(b)・c
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・(b)・c	a・(b)・c	a・(b)・c
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。				
	I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a・(b)・c	a・(b)・c	a・(b)・c
	I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a・(b)・c	a・(b)・c	a・(b)・c

## 所見欄

<p>管理者自らの役割と責任は、会議等の機会を通じて示している。遵守すべき法令等のリスト化までには至っていないが、事務組合が開催する施設長会への参加や研修会等にて情報を得ている。</p> <p>また、1日に2回必ずケアの現場に出向き、気づいたこと等を代表者会や職員会で提示している。さらに現在進めている「利用者の日課の見直し」においては、代表者会で進捗状況を説明する等リーダーシップを発揮しているが、サービスの質の向上に向けた取組みに対して一層の関与を期待したい。</p>
--

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

## Ⅱ-1 経営状況の把握

		第三者評価結果		
		特養	デイ	訪問
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。				
	Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a・(b)・c	a・(b)・c	a・(b)・c
	Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a・(b)・c	(a)・b・c	a・(b)・c
	Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	—	—	—

## 所見欄

<p>地域の現状については、居宅支援事業所等との情報交換を通して把握している。さらに、稼働率や収支状況についても注意を払い、職員には適宜周知を図り、経営状況の課題把握につなげている。特に通所介護において、業務改善のため8か月間のコンサルテーションを受けた。その結果、稼働率がアップし介護職員の増員につながったことは大いに評価できる。今後も組織として課題に取り組むことを期待したい。</p>
--

## II-2 人材の確保・養成

		第三者評価結果		
		特養	デイ	訪問
II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。				
	II-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a・b・c	①・b・c	a・b・c
	II-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a・b・c	a・b・c	a・b・c
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。				
	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a・b・c	a・b・c	a・b・c
	II-2-(2)-② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a・b・c	a・b・c	a・b・c
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。				
	II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a・b・c	a・b・c	a・b・c
	II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a・b・c	a・b・c	a・b・c
	II-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c	a・b・c	a・b・c
II-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。				
	II-2-(4)-① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	①・b・c	a・b・c	a・b・c

## 所見欄

配置基準に基づいた職員配置はされているが、サービスの質の確保という点からも、計画的な人事管理に向けた体制づくりが求められる。人事管理については、事務組合の一括管理であり、必要人員や必要職種の要望等を事務組合に提出する等の努力が行われている。今後、事務組合としての人員体制整備についての仕組みづくりを期待したい。

人事考課の仕組みはあるが、職員へのフィードバックがされていないので、実施要領に基づいた人事考課の実施が望まれる。

新任職員研修をはじめ、各種研修は実施している。今後は、施設としても、職員個人としても質の向上が図れるよう、計画的な研修計画の策定、研修結果の評価、分析につながる仕組みづくりを期待したい。

## II-3 安全管理

		第三者評価結果		
		特養	デイ	訪問
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。				
	II-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a・b・c	a・b・c	a・b・c
	II-3-(1)-② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	a・b・c	a・b・c	a・b・c
	II-3-(1)-③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a・b・c	a・b・c	a・b・c

## 所見欄

利用者の安全を確保する取組みは、事故防止指針、マニュアルの整備、介護事故防止委員会の設置、事故が発生した時の分析と防止策の検討会の開催、研修会の開催、定期的な訓練、日々の申し送りでの報告等により体制を整備している。このことの職員へのさらなる周知徹底が望まれる。  
また、介護機器や設備、備品等については点検のルールづくりが望まれる。

## Ⅱ-4 地域との交流と連携

		第三者評価結果		
		特養	デイ	訪問
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。				
	Ⅱ-4-(1)-① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・b・c	a・Ⓑ・c	—
	Ⅱ-4-(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	a・Ⓑ・c	a・Ⓑ・c	a・Ⓑ・c
	Ⅱ-4-(1)-③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・b・c	Ⓐ・b・c	—
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。				
	Ⅱ-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・b・c	a・Ⓑ・c	a・Ⓑ・c
	Ⅱ-4-(2)-② 関係機関等との連携が適切に行われている。	Ⓐ・b・c	Ⓐ・b・c	Ⓐ・b・c
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。				
	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	a・Ⓑ・c	a・Ⓑ・c	a・Ⓑ・c
	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a・Ⓑ・c	a・Ⓑ・c	a・Ⓑ・c

## 所見欄

地域とのかかわりについては、基本方針で明示している。毎年行われる納涼祭は利用者地域との交流の場となっている。日常的に幼児や地域住民によるボランティアの協力を得て施設行事を実施し、利用者の生活に潤いを与えている。今後は、施設機能を地域へ還元するための取組みを期待したい。

関係機関に関する情報はリスト化され、連携が適切に行われている。

地域の福祉ニーズの把握については、通所介護において他事業所の介護支援専門員に聞くことにより、具体的なニーズの把握ができ、機能訓練の充実につなげることができている。

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

## Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果		
		特養	デイ	訪問
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。				
	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c	Ⓐ・b・c	a・Ⓑ・c
	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a・Ⓑ・c	a・Ⓑ・c	a・Ⓑ・c

Ⅲ-1-(2) 利用者満足の上昇に努めている。				
	Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	a・(b)・c	a・(b)・c	a・(b)・c
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。				
	Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a・(b)・c	a・(b)・c	a・(b)・c
	Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	(a)・b・c	(a)・b・c	(a)・b・c
	Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a・(b)・c	a・(b)・c	a・(b)・c

## 所見欄

<p>利用者を尊重する姿勢は基本方針に掲げ、各種対応マニュアル等を整備している。今後は朝礼や職員会、研修会等を活用し、さらなる職員への周知徹底が望まれる。</p> <p>利用者満足の上昇につなげるため、対話集会での聴取、利用者への個々の聴取、満足度調査等を実施し、意向をくみ取っている。</p> <p>利用者や家族の意見や要望等については、担当者の配置、日常的な言葉かけ等を行い迅速かつ適切に対応し、サービスの改善に反映させる努力をしている。今後はマニュアル等の整備を期待したい。</p> <p>現在苦情の申し出はほとんどない状況であるが、意見箱の設置場所等、利用者や家族が苦情を申し出やすい環境の工夫等についての検討が望まれる。</p>
---

## Ⅲ-2 サービスの質の確保

		第三者評価結果		
		特養	デイ	訪問
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。				
	Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的な評価を行う体制を整備している。	a・(b)・c	a・(b)・c	a・(b)・c
	Ⅲ-2-(1)-② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	a・(b)・c	a・(b)・c	a・(b)・c
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。				
	Ⅲ-2-(2)-① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a・(b)・c	a・(b)・c	a・(b)・c
	Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	(a)・b・c	a・(b)・c	a・(b)・c
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。				
	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	(a)・b・c	(a)・b・c	(a)・b・c
	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a・(b)・c	(a)・b・c	(a)・b・c
	Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a・(b)・c	(a)・b・c	a・(b)・c

所見欄

今回の福祉サービス第三者評価は二度目の受審である。前回の受審で明確になった課題の一部は改善された。今回も全職員がかかわって自己評価を行い、その過程で気づいた課題は、改善の取組みを始めている。特に、「利用者の日課の見直し」を行い、サービス提供内容や方法の改善につなげる取組みは評価に値する。さらなる質の向上に向けた取組みが行われることを期待したい。さらに、定期的な自己評価の実施が望まれる。

提供するサービスの標準的な実施方法は、事務組合が作成しているマニュアルを基準としている。現在、見直しを実施しているところであるが、最新の情報や考え方を盛り込みながら、実践可能なマニュアルの整備を期待したい。

サービス実施の記録については、パソコンのネットワークシステムを導入し、全職員が入力・確認でき、情報の共有化を図っている。さらに日直職員は、その日の最終的な記録の確認を行う仕組みが整っている。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

		第三者評価結果		
		特養	デイ	訪問
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。				
	Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a・(b)・c	a・(b)・c	a・(b)・c
	Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	(a)・b・c	(a)・b・c	(a)・b・c
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。				
	Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	(a)・b・c	a・(b)・c	a・(b)・c

所見欄

サービス選択に必要な情報提供については、特養、通所介護とも見学、体験など随時行っている。訪問介護ではチラシを作成し情報提供を行っている。

また、サービス開始にあたっては、詳しい資料を用いて丁寧に説明し、同意を得て契約が行われている。

事業所の変更、地域・家庭への移行は少ないが、カンファレンスの開催や家庭訪問、サマリー（要約記録）の作成等を実施し、ケアの継続性に配慮している。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果		
		特養	デイ	訪問
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。				
	Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	(a)・b・c	(a)・b・c	(a)・b・c
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。				
	Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	(a)・b・c	(a)・b・c	(a)・b・c
	Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	(a)・b・c	a・(b)・c	a・(b)・c

所見欄

利用者一人ひとりについて、定められた手順でアセスメントを行い、利用者の状況把握及び家族の意向を踏まえて、サービス実施計画を策定している。また、サービス実施計画は定期的に見直し、必要な修正を加えて継続的な支援を行っている。



## 1 支援の基本

	第三者評価結果		
	特養	デイ	訪問
1-① 利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	a・(b)・c	a・(b)・c	—
1-① 利用者の心身の状況に合わせ、自立した生活が営めるよう支援している。	—	—	(a)・b・c
1-② 利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	a・(b)・c	(a)・b・c	(a)・b・c

## 所見欄

利用者や家族の意向を把握し、利用者一人ひとりに応じた生活支援を行うよう努力している。さらに趣味活動等は、利用者の心身の状況に合った活動に参加できるよう考慮している。今後はその人らしい生活や自立に向けた活動へのさらなる取組みを期待したい。

利用者とのコミュニケーションの重要性を認識し、話す機会を多くもつように努めている。難聴者には筆談等に対応し、意思の表明が困難な利用者には表情や様子などから読み取り、その内容を生活支援に生かしている。

## 2 身体介護

	第三者評価結果		
	特養	デイ	訪問
2-① 入浴介助、清拭等を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a・(b)・c	(a)・b・c	(a)・b・c
2-② 排せつ介助を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a・(b)・c	(a)・b・c	(a)・b・c
2-③ 移乗、移動を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a・(b)・c	(a)・b・c	(a)・b・c
2-④ 褥瘡の発生予防を行っている。	a・(b)・c	(a)・b・c	(a)・b・c

## 所見欄

利用者の心身の状態に応じて入浴形態や方法を考慮している。また、時間外や突発的な場合も必要に応じて入浴あるいはシャワー浴等ができるよう配慮している。特養の入浴については、構造上の制約があるものの、前回の受審後から環境・介助方法等の改善がみられる。

排泄については、利用者の排泄リズムを把握し、一人ひとりに合わせた介助や誘導を実施している。

移乗・移動については、利用者の心身の状態や要望に応じて、安全に配慮して行っている。特に車いすへの移乗については、職員2名で対応し事故防止に努めている。

特養における褥瘡(床ずれ)の発生予防についての取組みは、医師や看護師との連携のもと、定期的な体位変換、ずれの防止、清潔な皮膚の保持、栄養管理等総合的に対応している。現在褥瘡が発生している利用者については、褥瘡対策委員会で検討し全職員へ周知しているが、さらなる予防の取組みが望まれる。

## 3 食生活

	第三者評価結果		
	特養	デイ	訪問
3-① 食事をおいしく食べられるよう工夫している。	a・(b)・c	(a)・b・c	(a)・b・c
3-② 食事提供、食事介助を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	(a)・b・c	(a)・b・c	(a)・b・c
3-③ 利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	a・(b)・c	(a)・b・c	a・(b)・c

## 所見欄

旬の食材を用い、選択食や行事食を取り入れる等、利用者満足に向け努力している。利用者の嚥下（飲み込み）状態や心身の状況に応じた食事の提供・介護を行っている。今後は、適温で食事が提供できる工夫が望まれる。

口腔ケアについては、歯科衛生士の指導や助言を受けケアプランに反映し、研修等で職員への周知も行っているが、さらなる努力を期待したい。

## 4 終末期の対応

	第三者評価結果		
	特養	デイ	訪問
4-① 利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立している。	a・(b)・c	—	a・b・(c)

## 所見欄

事務組合の終末期対応マニュアルに基づき、当施設の具体的なマニュアルを整備中である。現在、医師や看護師との連携により、利用者や家族の希望にそった終末期ケアが提供できるよう努めている。

## 5 認知症ケア

	第三者評価結果		
	特養	デイ	訪問
5-① 認知症の状態に配慮したケアを行っている。	a・(b)・c	a・(b)・c	a・(b)・c
5-② 認知症高齢者が安心・安全に生活できるよう、環境の整備を行っている。	a・(b)・c	a・(b)・c	a・(b)・c

## 所見欄

利用者の状態に応じてマンツーマンで見守るなど、一人ひとりの状態・状況に配慮した支援を行っている。今後は利用者個々に合った役割が持てる工夫を期待したい。

環境面では季節感が感じられるような壁の装飾等を行っているが、安心して落ち着ける雰囲気づくり、場づくりに向けたより一層の工夫が望まれる。

## 6 機能訓練・介護予防

	第三者評価結果		
	特養	デイ	訪問
6-① 利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	a・(b)・c	(a)・b・c	a・(b)・c

## 所見欄

特養では専任の理学療法士が機能訓練を行っているが、利用者の人数が多く十分とはいえない。介護予防活動については、各職員が生活リハビリテーションの意識をもち、利用者の自立に向けたサービス提供が行われることを期待したい。

通所介護では、計画に基づき一人ひとりに応じた機能訓練を実施し、評価や見直しを行っている。

## 7 健康管理・衛生予防

	第三者評価結果		
	特養	デイ	訪問
7-① 利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順を確立している。	a・(b)・c	(a)・b・c	(a)・b・c
7-② 感染症や食中毒の発生予防を行っている。	a・(b)・c	a・(b)・c	(a)・b・c

## 所見欄

特養においては利用者の日々の健康チェック、結果の記録、情報の共有、利用者の体調変化への迅速な対応等について、職員に周知徹底するための方策を立て、実施できる仕組みの整備が望まれる。

感染症や食中毒の発生予防については、マニュアルの作成、研修会の実施、予防接種の推進等の取り組みを行っている。

## 8 建物・設備

	第三者評価結果		
	特養	デイ	訪問
8-① 施設の建物・設備について、利用者の快適性に配慮している。	a・(b)・c	a・(b)・c	—

## 所見欄

利用者の生活の安全性や快適性を確保するために、建物や設備等の点検を定期的に行うことが望まれる。特に特養では、施設内の空き部屋の清掃、居室のドアノブの交換やカーテンの修理、車いす等の福祉用具の点検を常時行い、汚れや不具合が無いように維持することが望まれる。

## 9 家族との連携

	第三者評価結果		
	特養	デイ	訪問
9-① 利用者の家族との連携を適切に行っている。	(a)・b・c	(a)・b・c	(a)・b・c

所見欄

利用者の近況報告や家族の要望の聴き取りは、特養ではケアカンファレンス時や面会、手紙等で行っている。また通所介護では、サービス担当者会議や送迎時に行っている。訪問介護では家族の心身の状況にも気を配り、必要に応じて介護支援専門員と連携をとっている。

9 サービス提供体制

	第三者評価結果		
	特養	デイ	訪問
9-① 安定的で継続的なサービス提供体制を整えている。	—	—	㉠・b・c

所見欄

初回訪問時や訪問介護員交代時は、事前にサービス提供責任者と共に同行訪問し、利用者や家族の確認を得た上でサービスを提供する等、安定的で継続的なサービス供給体制が整っている。